別添(Annex)1 キーカテゴリー分析の詳細

A1.1. キーカテゴリー分析の概要

インベントリ報告ガイドライン ¹では、2006 年 IPCC ガイドラインを適用することとされており、同ガイドラインに示されたキーカテゴリー(key category)分析を行う必要がある。

ここでは、直近年(2019 年度)及び条約の基準年(1990 年度)のキーカテゴリー分析の結果を報告する。

A1.2. キーカテゴリー分析結果

A1.2.1. キーカテゴリー

2006 年 IPCC ガイドラインの評価方法(アプローチ 1 のレベルアセスメント及びトレンドアセスメント、アプローチ 2 のレベルアセスメント及びトレンドアセスメント)に従って「キーカテゴリー」の評価を行った。

土地利用、土地利用変化及び林業(LULUCF)分野は、排出源分野のみの分析にてキーカテゴリーを評価した後、LULUCF分野も含めた全体の分析を行い「キーカテゴリー」の評価を行った。

その結果、2019 年度は 44 の排出・吸収区分が、また 1990 年度は 40 の排出・吸収区分が それぞれ我が国のキーカテゴリーと同定された(表 A1-1 及び表 A1-2)。

¹ Revision of the UNFCCC reporting guidelines on annual inventories for Parties included in Annex I to the Convention (Decision 24/CP.19)

表 A 1-1 日本のキーカテゴリー (2019 年度)

A ⊐-F	B 区分		C 温室効果	Ap1-L	Ap1-T	Ap2-L	Ap2-T
'			ガス				
#1 1.A.1.	エネルギー産業	固体燃料	CO2	#1	#1	#1	#1
#2 1.A.3.	運輸	b. 自動車	CO2	#2	#22	#3	
#3 1.A.2.	製造業及び建設業	固体燃料	CO2	#3	#7	#2	#13
#4 1.A.1.	エネルギー産業	気体燃料	CO2	#4	#4	#6	#9
#5 1.A.4.	その他部門	液体燃料	CO2	#5	#6	#5	#8
#6 4.A	森林	1. 転用のない森林	CO2	#6	#9	#4	#7
#7 1.A.2.	製造業及び建設業	液体燃料	CO2	#7	#3	#10	#4
#8 1.A.1.	エネルギー産業	液体燃料	CO2	#8	#2	#11	#3
#9 2.F	オゾン層破壊物質の代替物質の使用	1. 冷蔵庫及び空調機器	HFCs	#9	#5	#9	#5
#10 1.A.4.	その他部門	気体燃料	CO2	#10	#8	#23	#20
#11 1.A.2.	製造業及び建設業	気体燃料	CO2	#11	#10	#30	#25
#12 2.A	鉱物製品	1. セメント製造	CO2	#12	#12	#24	#22
#13 3.C	稲作		CH4	#13			
#14 5.C	廃棄物の焼却と野焼き		CO2	#14		#14	
#15 1.A.2.	製造業及び建設業	その他の燃料	CO2	#15	#16	#12	#16
#16 1.A.3.	運輸	a. 航空機	CO2	#16	#20		
#17 1.A.3.	運輸	d. 船舶	CO2	#17			
#18 1.A.4.	その他部門	その他の燃料	CO2	#18		#15	#28
#19 3.A	消化管内発酵		CH4	#19		#13	#27
#20 1.A.4.	その他部門	固体燃料	CO2	#20	#17		#29
#21 4.B	農地	1. 転用のない農地	CO2			#22	#24
#22 3.B	家畜排せつ物の管理		N2O			#8	
#23 3.D	農用地の土壌	1. 直接排出	N2O			#27	
#24 2.F	オゾン層破壊物質の代替物質の使用	2. 発泡	HFCs			#16	#10
#25 5.A	固形廃棄物の処分		CH4		#15		#12
#26 2.B	化学産業	アンモニア以外の化学産業	CO2			#17	#23
#27 2.D	燃料の非エネルギー製品利用と溶剤利用		CO2			#18	#30
#28 5.D	排水の処理と放出		N2O			#28	
#29 3.D	農用地の土壌	2. 間接排出	N2O			#7	#18
#30 1.A.1.	エネルギー産業		N2O				#31
#31 4.G	伐採木材製品の利用		CO2				#26
#32 2.E	電子産業		PFCs			#19	
#33 4.E	開発地	2. 他の土地利用から転用された開発地	CO2				#21
#34	間接CO2	工業プロセス及び製品の使用分野由来	Ind CO2			#29	#15
#35 5.C	廃棄物の焼却と野焼き		N2O			#20	
#36 1.A.3.	運輸	b. 自動車	N2O			#25	#14
#37 2.G	その他の製品製造及び使用		SF6		#13	#21	#2
#38 4.A	森林	2. 他の土地利用から転用された森林	CO2		#18		#17
#39 1.B	燃料からの漏出	1. 固体燃料	CH4		#19		#6
#40 2.E	電子産業	4 . L 2 L)	SF6			#26	,,,,
#41 2.B	化学産業	4.カプロラクタム等製造	N2O		1111		#11
#42 2.B	化学産業	9. フッ化物製造(製造時の漏出)	HFCs		#11		#10
#43 2.B	化学産業	3.アジピン酸	N2O		#14		#19
#44 2.B	化学産業	9. フッ化物製造(製造時の漏出)	SF6		#21		

(注) Ap1-L: アプローチ1のレベルアセスメント、Ap1-T: アプローチ1のトレンドアセスメント、 Ap2-L: アプローチ2のレベルアセスメント、 Ap2-T: アプローチ2のトレンドアセスメント。 各アセスメント中の数値は、それぞれのアセスメント中の順位を表す。

A =-	-F	B 区分		C 温室効果 ガス	Ap1-L	Ap2-L
#1 1.A	A.2.	製造業及び建設業	固体燃料	CO2	#1	#1
#2 1.A	A.3.	運輸	b. 自動車	CO2	#2	#3
#3 1.A	A .1.	エネルギー産業	液体燃料	CO2	#3	#4
#4 1.A	A.2.	製造業及び建設業	液体燃料	CO2	#4	#6
#5 1.A	4.4.	その他部門	液体燃料	CO2	#5	#8
#6 1.A	A .1.	エネルギー産業	固体燃料	CO2	#6	#7
#7 1.A	A.1.	エネルギー産業	気体燃料	CO2	#7	#18
#8 4.A	A	森林	1. 転用のない森林	CO2	#8	#2
#9 2.A	A	鉱物製品	1. セメント製造	CO2	#9	#21
#10 1.A	A.4.	その他部門	気体燃料	CO2	#10	
#11 2.B	В	化学産業	9. フッ化物製造(製造時の漏出)	HFCs	#11	
#12 1.A	A.3.	運輸	d. 船舶	CO2	#12	
#13 5.C	C	廃棄物の焼却と野焼き		CO2	#13	#17
#14 3.C	C	稲作		CH4	#14	
#15 1.A	A .2.	製造業及び建設業	気体燃料	CO2	#15	
#16 5.A	A	固形廃棄物の処分		CH4	#16	#14
#17 3.A	A	消化管内発酵		CH4	#17	#13
#18 2.0	3	その他の製品製造及び使用		SF6	#18	#5
#19 4.B	В	農地	1. 転用のない農地	CO2	#19	#20
#20 2.B	В	化学産業	3.アジピン酸	N2O	#20	
#21 2.C	C	金属の生産	1. 鉄鋼製造	CO2	#21	
#22 1.A	4.3.	運輸	a. 航空機	CO2	#22	
#23 2.A	A	鉱物製品	2. 生石灰製造	CO2	#23	
#24 4.A	A	森林	2. 他の土地利用から転用された森林	CO2	#24	#30
#25 1.A	4.4.	その他部門	その他の燃料	CO2	#25	#23
#26 1.B	В	燃料からの漏出	1. 固体燃料	CH4	#26	#11
#27 3.E	D	農用地の土壌	1. 直接排出	N2O	#27	#24
#28		間接CO2	工業プロセス及び製品の使用分野由来	Ind CO2		#15
#29 4.E	Е	開発地	2. 他の土地利用から転用された開発地	CO2		#28
#30 1.A	A .2.	製造業及び建設業	その他の燃料	CO2		#31
#31 3.E	В	家畜排せつ物の管理		N2O		#10
#32 2.B	В	化学産業	アンモニア以外の化学産業	CO2		#16
#33 1.A	A.3.	運輸	b. 自動車	N2O		#12
#34 3.E	D	農用地の土壌	2. 間接排出	N2O		#9
#35 5.D	D	排水の処理と放出		N2O		#29
#36 2.E	D	燃料の非エネルギー製品利用と溶剤利用		CO2		#27
#37 2.B	В	化学産業	4. カプロラクタム等製造	N2O		#19
#38 2.E	Е	電子産業		PFCs		#25
#39 5.0	C	廃棄物の焼却と野焼き		N2O		#26
#40 2.E	R.	電子産業		SF6		#22

表 A 1-2 日本のキーカテゴリー (1990 年度)

(注) Ap1-L: アプローチ1 のレベルアセスメント、 Ap2-L: アプローチ2 のレベルアセスメント。 各アセスメント中の数値は、それぞれのアセスメント中の順位を表す。

A1.2.2. レベルアセスメント

レベルアセスメントは、カテゴリー毎の排出・吸収量が全体の排出・吸収量に占める割合を計算し、割合の大きなカテゴリーからそれぞれの割合を足し上げて、アプローチ 1 は全体の 95%、アプローチ 2 は全体の 90%に達するまでのカテゴリーを「キーカテゴリー」とするものである。アプローチ 1 による分析では各カテゴリーの排出・吸収量を直接用い、アプローチ 2 による分析では各カテゴリーの排出・吸収量を直接用い、アプローチ 2 による分析では各カテゴリーの排出・吸収量にカテゴリー毎の不確実性を乗じたものを分析対象とする。

分析は、初めに、排出源分野のみを対象にした評価を行い、一度キーカテゴリーを決定す

る(1)。次に、吸収源分野(LULUCF)を含めた全分野を対象にした評価を行い、そこで新たにキーと判断された吸収源分野のカテゴリーを追加して、全分野のキーカテゴリーを決定する(2)。分析(1)でキーカテゴリーと同定されたが(2)では同定されなかった排出源については、キーカテゴリーと同定されなかったが(2)でキーと同定された排出源については、キーカテゴリーとは見なしていない(表中のグレーの行)。

2019 年度の排出・吸収量に対するレベルアセスメントの結果、アプローチ 1 レベルアセスメントでは 20 の排出・吸収区分が、またアプローチ 2 レベルアセスメントでは 30 の排出・吸収区分がそれぞれキーカテゴリーと同定された(表 A1-3 及び表 A 1-4)。

	A コード	B 区分		C 温室効果 ガス	F 最新年度の 排出・吸収量 [千t-CO ₂ 換算]	H Ap1-L	I Ap1-L 寄与度 [%]	累積 寄与度 [%]
#1	1.A.1.	エネルギー産業	固体燃料	CO2	251,698.04	0.197	19.7%	19.7%
#2	1.A.3.	運輸	b. 自動車	CO2	177,356.07	0.139	13.9%	33.6%
#3	1.A.2.	製造業及び建設業	固体燃料	CO2	167,470.87	0.131	13.1%	46.7%
#4	1.A.1.	エネルギー産業	気体燃料	CO2	144,978.87	0.113	11.3%	58.0%
#5	1.A.4.	その他部門	液体燃料	CO2	80,405.72	0.063	6.3%	64.3%
#6	4.A	森林	1. 転用のない森林	CO2	-54,375.05	0.043	4.3%	68.5%
#7	1.A.2.	製造業及び建設業	液体燃料	CO2	51,541.64	0.040	4.0%	72.6%
#8	1.A.1.	エネルギー産業	液体燃料	CO2	51,211.39	0.040	4.0%	76.6%
#9	2.F	オゾン層破壊物質の代替物質の使用	1. 冷蔵庫及び空調機器	HFCs	45,797.11	0.036	3.6%	80.2%
#10	1.A.4.	その他部門	気体燃料	CO2	45,471.07	0.036	3.6%	83.7%
#11	1.A.2.	製造業及び建設業	気体燃料	CO2	30,825.07	0.024	2.4%	86.1%
#12	2.A	鉱物製品	1. セメント製造	CO2	25,328.01	0.020	2.0%	88.1%
#13	3.C	稲作		CH4	11,946.01	0.009	0.9%	89.0%
#14	5.C	廃棄物の焼却と野焼き		CO2	11,485.09	0.009	0.9%	89.9%
#15	1.A.2.	製造業及び建設業	その他の燃料	CO2	10,503.86	0.008	0.8%	90.8%
#16	1.A.3.	運輸	a. 航空機	CO2	10,487.67	0.008	0.8%	91.6%
#17	1.A.3.	運輸	d. 船舶	CO2	10,475.72	0.008	0.8%	92.4%
#18	1.A.4.	その他部門	その他の燃料	CO2	8,274.01	0.006	0.6%	93.1%
#19	3.A	消化管内発酵		CH4	7,563.04	0.006	0.6%	93.6%
#20	1.A.4.	その他部門	固体燃料	CO2	6,531.67	0.005	0.5%	94.2%
#21	2.C	金属の生産	1. 鉄鋼製造	CO2	5,515.11	0.004	0.4%	94.6%

表 A 1-3 アプローチ 1 レベルアセスメントの結果 (2019 年度)

(注)#21は分析(1)でキーカテゴリーと同定されなかったが分析(2)でキーと同定された排出源であり、 キーカテゴリーとは見なしていない。

表 A 1-4 アプローチ 2 レベルアセスメントの結果 (2019年度)

	A コード	B 区分		C 温室効果 ガス	F 最新年度の 排出・吸収量 [千t-CO₂換算]	L 排出・吸収源 の不確実性 [%]	N Ap2-L 寄与度 [%]	累積 寄与度 [%]
#1	1.A.1.	エネルギー産業	固体燃料	CO2	251,698.04	6%	15.0%	15.0%
#2	1.A.2.	製造業及び建設業	固体燃料	CO2	167,470.87	6%	10.0%	25.0%
	1.A.3.	運輸	b. 自動車	CO2	177,356.07	5%	8.8%	33.8%
#4	4.A	森林	1. 転用のない森林	CO2	-54,375.05	13%	7.2%	41.0%
#5	1.A.4.	その他部門	液体燃料	CO2	80,405.72	5%	4.0%	45.0%
#6	1.A.1.	エネルギー産業	気体燃料	CO2	144,978.87	2%	3.6%	48.6%
#7	3.D	農用地の土壌	2. 間接排出	N2O	1,924.34	164%	3.3%	52.0%
#8	3.B	家畜排せつ物の管理		N2O	3,689.96	80%	3.1%	55.1%
#9	2.F	オゾン層破壊物質の代替物質の使用	1. 冷蔵庫及び空調機器	HFCs	45,797.11	6%	3.1%	58.2%
#10	1.A.2.	製造業及び建設業	液体燃料	CO2	51,541.64	5%	2.6%	60.7%
#11	1.A.1.	エネルギー産業	液体燃料	CO2	51,211.39	5%	2.5%	63.3%
#12	1.A.2.	製造業及び建設業	その他の燃料	CO2	10,503.86	19%	2.1%	65.4%
#13	3.A	消化管内発酵		CH4	7,563.04	26%	2.1%	67.5%
#14	5.C	廃棄物の焼却と野焼き		CO2	11,485.09	16%	1.9%	69.4%
#15	1.A.4.	その他部門	その他の燃料	CO2	8,274.01	19%	1.7%	71.0%
#16	2.F	オゾン層破壊物質の代替物質の使用	2. 発泡	HFCs	2,978.72	50%	1.6%	72.6%
#17	2.B	化学産業	アンモニア以外の化学産業	CO2	2,643.31	55%	1.5%	74.1%
#18	2.D	燃料の非エネルギー製品利用と溶剤利用		CO2	2,604.63	55%	1.5%	75.6%
#19	2.E	電子産業		PFCs	1,751.65	81%	1.5%	77.1%
#20	5.C	廃棄物の焼却と野焼き		N2O	1,480.43	78%	1.2%	78.4%
#21	2.G	その他の製品製造及び使用		SF6	1,389.46	83%	1.2%	79.6%
#22	4.B	農地	1. 転用のない農地	CO2	5,016.92	22%	1.2%	80.7%
#23	1.A.4.	その他部門	気体燃料	CO2	45,471.07	2%	1.1%	81.9%
#24	2.A	鉱物製品	1. セメント製造	CO2	25,328.01	4%	1.1%	83.0%
#25	1.A.3.	運輸	b. 自動車	N2O	1,407.23	72%	1.1%	84.0%
#26	2.E	電子産業		SF6	320.94	300%	1.0%	85.1%
#27	3.D	農用地の土壌	1. 直接排出	N2O	3,656.88	26%	1.0%	86.1%
#28	5.D	排水の処理と放出		N2O	2,005.31	38%	0.8%	86.9%
#29		間接CO2	工業プロセス及び製品の使用分野由来	Ind CO2	1,613.95	46%	0.8%	87.7%
#30	1.A.2.	製造業及び建設業	気体燃料	CO2	30,825.07	2%	0.8%	88.4%
#31	3.C	稲作		CH4	11,946.01	6%	0.8%	89.2%
#32	5.A	固形廃棄物の処分		CH4	2,810.80	22%	0.7%	89.9%

(注) #31 及び#32 は分析(1) でキーカテゴリーと同定されなかったが分析(2) でキーと同定された排出源であり、キーカテゴリーとは見なしていない。

1990 年度の排出・吸収量に対するレベルアセスメントの結果、アプローチ 1 レベルアセスメントでは 27 の排出・吸収区分が、またアプローチ 2 レベルアセスメントでは 31 の排出・吸収区分がそれぞれキーカテゴリーと同定された(表 A 1-5 及び表 A 1-6)。

表 4 1-5	アプローチ	レベルアセスメン	トの結果	(1990 年度)
4X A I - J	, , \vdash		I ' ♥ ノ かロ ⊿へ	(1)

	A コード	B 区分		C 温室効果 ガス	D 1990年度の 排出・吸収量 [千t-CO ₂ 換算]	H Ap1-L	I Ap1-L 寄与度 [%]	累積 寄与度 [%]
#1	1.A.2.	製造業及び建設業	固体燃料	CO2	199,587.36	0.146	14.6%	14.6%
#2	1.A.3.	運輸	b. 自動車	CO2	180,367.42	0.132	13.2%	27.7%
#3	1.A.1.	エネルギー産業	液体燃料	CO2	178,960.88	0.131	13.1%	40.8%
#4	1.A.2.	製造業及び建設業	液体燃料	CO2	134,131.90	0.098	9.8%	50.6%
	1.A.4.	その他部門	液体燃料	CO2	129,082.43	0.094	9.4%	60.0%
#6	1.A.1.	エネルギー産業	固体燃料	CO2	109,537.93	0.080	8.0%	68.0%
#7	1.A.1.	エネルギー産業	気体燃料	CO2	80,030.95	0.058	5.8%	73.8%
#8	4.A	森林	1. 転用のない森林	CO2	-72,387.53	0.053	5.3%	79.1%
#9	2.A	鉱物製品	1. セメント製造	CO2	38,701.10	0.028	2.8%	81.9%
#10	1.A.4.	その他部門	気体燃料	CO2	22,241.56	0.016	1.6%	83.5%
#11	2.B	化学産業	9. フッ化物製造(製造時の漏出)	HFCs	15,930.24	0.012	1.2%	84.7%
#12	1.A.3.	運輸	d. 船舶	CO2	13,674.88	0.010	1.0%	85.7%
#13	5.C	廃棄物の焼却と野焼き		CO2	12,248.01	0.009	0.9%	86.6%
#14	3.C	稲作		CH4	12,129.25	0.009	0.9%	87.5%
#15	1.A.2.	製造業及び建設業	気体燃料	CO2	11,894.05	0.009	0.9%	88.3%
#16	5.A	固形廃棄物の処分		CH4	9,604.77	0.007	0.7%	89.0%
#17	3.A	消化管内発酵		CH4	9,422.90	0.007	0.7%	89.7%
#18	2.G	その他の製品製造及び使用		SF6	8,814.04	0.006	0.6%	90.4%
#19	4.B	農地	1. 転用のない農地	CO2	7,409.27	0.005	0.5%	90.9%
#20	2.B	化学産業	3.アジピン酸	N2O	7,210.88	0.005	0.5%	91.4%
#21	2.C	金属の生産	1. 鉄鋼製造	CO2	7,186.23	0.005	0.5%	91.9%
#22	1.A.3.	運輸	a. 航空機	CO2	7,162.41	0.005	0.5%	92.5%
#23	2.A	鉱物製品	2. 生石灰製造	CO2	6,674.45	0.005	0.5%	93.0%
#24	4.A	森林	2. 他の土地利用から転用された森林	CO2	-6,673.76	0.005	0.5%	93.4%
	1.A.4.	その他部門	その他の燃料	CO2	6,467.73	0.005	0.5%	93.9%
#26	1.B	燃料からの漏出	1. 固体燃料	CH4	4,781.81	0.003	0.3%	94.3%
#27	_	農用地の土壌	1. 直接排出	N2O	4,699.41	0.003	0.3%	94.6%
#28	2.F	オゾン層破壊物質の代替物質の使用	5. 溶剤	PFCs	4,549.94	0.003	0.3%	94.9%

(注) #28 は分析(1) でキーカテゴリーと同定されなかったが分析(2) でキーと同定された排出源であり、キーカテゴリーとは見なしていない。

表 A 1-6 アプローチ 2 レベルアセスメントの結果 (1990年度)

A コード	B 区分		C 温室効果 ガス	D 1990年度の 排出・吸収量 [千t-CO ₂ 換算]	L 排出・吸収源 の不確実性 [%]	N Ap2-L 寄与度 [%]	累積 寄与度 [%]
#1 1.A.2.	製造業及び建設業	固体燃料	CO2	199,587.36	6%	9.7%	9.7%
#2 4.A	森林	1. 転用のない森林	CO2	-72,387.53	13%	7.8%	17.5%
#3 1.A.3.	運輸	b. 自動車	CO2	180,367.42	5%	7.3%	24.8%
#4 1.A.1.	エネルギー産業	液体燃料	CO2	178,960.88	5%	7.2%	32.1%
#5 2.G	その他の製品製造及び使用		SF6	8,814.04	83%	6.3%	38.4%
#6 1.A.2.	製造業及び建設業	液体燃料	CO2	134,131.90	5%	5.4%	43.8%
#7 1.A.1.	エネルギー産業	固体燃料	CO2	109,537.93	6%	5.3%	49.1%
#8 1.A.4.	その他部門	液体燃料	CO2	129,082.43	5%	5.2%	54.4%
#9 3.D	農用地の土壌	2. 間接排出	N2O	2,435.88	164%	3.4%	57.8%
#10 3.B	家畜排せつ物の管理		N2O	4,151.38	80%	2.9%	60.7%
#11 1.B	燃料からの漏出	1. 固体燃料	CH4	4,781.81	65%	2.7%	63.3%
#12 1.A.3.	運輸	b. 自動車	N2O	3,457.24	72%	2.1%	65.5%
#13 3.A	消化管内発酵		CH4	9,422.90	26%	2.1%	67.6%
#14 5.A	固形廃棄物の処分		CH4	9,604.77	22%	1.8%	69.4%
#15	間接CO2	工業プロセス及び製品の使用分野由来	Ind CO2	4,506.13	46%	1.8%	71.2%
#16 2.B	化学産業	アンモニア以外の化学産業	CO2	3,623.06	55%	1.7%	72.9%
#17 5.C	廃棄物の焼却と野焼き		CO2	12,248.01	16%	1.7%	74.6%
#18 1.A.1.	エネルギー産業	気体燃料	CO2	80,030.95	2%	1.6%	76.2%
#19 2.B	化学産業	4. カプロラクタム等製造	N2O	1,672.86	99%	1.4%	77.6%
#20 4.B	農地	1. 転用のない農地	CO2	7,409.27	22%	1.4%	79.0%
#21 2.A	鉱物製品	1. セメント製造	CO2	38,701.10	4%	1.4%	80.4%
#22 2.E	電子産業		SF6	418.70	300%	1.1%	81.5%
#23 1.A.4.	その他部門	その他の燃料	CO2	6,467.73	19%	1.1%	82.6%
#24 3.D	農用地の土壌	1. 直接排出	N2O	4,699.41	26%	1.1%	83.6%
#25 2.E	電子産業		PFCs	1,454.78	81%	1.0%	84.6%
#26 5.C	廃棄物の焼却と野焼き		N2O	1,438.04	78%	1.0%	85.6%
#27 2.D	燃料の非エネルギー製品利用と溶剤利用		CO2	2,039.82	55%	1.0%	86.5%
#28 4.E	開発地	2. 他の土地利用から転用された開発地	CO2	4,313.16	22%	0.8%	87.4%
#29 5.D	排水の処理と放出		N2O	2,387.11	38%	0.8%	88.2%
#30 4.A	森林	2. 他の土地利用から転用された森林	CO2	-6,673.76	13%	0.7%	88.9%
#31 1.A.2.	製造業及び建設業	その他の燃料	CO2	4,207.45	19%	0.7%	89.6%

A1.2.3. トレンドアセスメント

カテゴリーの排出・吸収量の変化率と全体の排出・吸収量の変化率の差を計算し、それに当該カテゴリーの排出・吸収寄与割合を乗じてトレンドアセスメントを算出し、さらにその数値の合計値に占める当該カテゴリーの割合が大きいカテゴリーから足し上げる。アプローチ 1 では全体の 95%、アプローチ 2 は全体の 90%に達するまでのカテゴリーを「キーカテゴリー」とする。アプローチ 1 による分析では各カテゴリーの排出・吸収量を直接用い、アプローチ 2 による分析では各カテゴリーの排出・吸収量を直接用い、アプローチ 2 による分析では各カテゴリーの排出・吸収量にカテゴリー毎の不確実性を乗じたものを分析対象とする。

分析は、初めに、排出源分野のみを対象にした評価を行い、一度キーカテゴリーを決定する (1)。次に、吸収源分野 (LULUCF) を含めた全分野を対象にした評価を行い、そこで新たにキーと判断された吸収源分野のカテゴリーを追加して、全分野のキーカテゴリーを決定する (2)。分析 (1) でキーカテゴリーと同定されたが (2) では同定されなかった排出源については、キーカテゴリーと見なした。一方、分析 (1) でキーカテゴリーと同定されなかったが (2) でキーと同定された排出源については、キーカテゴリーとは見なしていない (表中のグレーの行)。

2019 年度の排出・吸収量に対するトレンドアセスメントの結果、アプローチ 1 トレンドアセスメントでは 22 の排出・吸収区分が、またアプローチ 2 トレンドアセスメントでは 31 の排出・吸収区分がそれぞれキーカテゴリーと同定された(表 A 1-7 及び表 A 1-8)。

Α	В		C	D	F	J	K	累積
コード	区分		温室効果ガス	1990年度の 排出・吸収量	最新年度の 排出・吸収量	Ap1-T	Ap1-T 寄与度	寄与度
			~^		[千t-CO ₂ 換算]		[%]	[%]
#1 1.A.1.	エネルギー産業	固体燃料	CO2	109,537.93	251,698.04	0.106	20.3%	20.3%
#2 1.A.1.	エネルギー産業	液体燃料	CO2	178,960.88	51,211.39	0.089	16.9%	37.2%
#3 1.A.2.	製造業及び建設業	液体燃料	CO2	134,131.90	51,541.64	0.057	10.8%	48.0%
#4 1.A.1.	エネルギー産業	気体燃料	CO2	80,030.95	144,978.87	0.049	9.4%	57.5%
#5 2.F	オゾン層破壊物質の代替物質の使用	1. 冷蔵庫及び空調機器	HFCs	0.00	45,797.11	0.033	6.4%	63.8%
#6 1.A.4.	その他部門	液体燃料	CO2	129,082.43	80,405.72	0.032	6.1%	70.0%
#7 1.A.2.	製造業及び建設業	固体燃料	CO2	199,587.36	167,470.87	0.018	3.5%	73.5%
#8 1.A.4.	その他部門	気体燃料	CO2	22,241.56	45,471.07	0.018	3.3%	76.8%
#9 4.A	森林	1. 転用のない森林	CO2	-72,387.53	-54,375.05	0.015	2.9%	79.7%
#10 1.A.2.	製造業及び建設業	気体燃料	CO2	11,894.05	30,825.07	0.014	2.7%	82.4%
#11 2.B	化学産業	9. フッ化物製造(製造時の漏出)	HFCs	15,930.24	132.41	0.011	2.1%	84.5%
#12 2.A	鉱物製品	1. セメント製造	CO2	38,701.10	25,328.01	0.009	1.7%	86.2%
#13 2.G	その他の製品製造及び使用		SF6	8,814.04	1,389.46	0.005	1.0%	87.2%
#14 2.B	化学産業	3.アジピン酸	N2O	7,210.88	93.85	0.005	1.0%	88.1%
#15 5.A	固形廃棄物の処分		CH4	9,604.77	2,810.80	0.005	0.9%	89.0%
#16 1.A.2.	製造業及び建設業	その他の燃料	CO2	4,207.45	10,503.86	0.005	0.9%	89.9%
#17 1.A.4.	その他部門	固体燃料	CO2	353.86	6,531.67	0.005	0.9%	90.8%
#18 4.A	森林	2. 他の土地利用から転用された森林	CO2	-6,673.76	-879.42	0.004	0.8%	91.6%
#19 1.B	燃料からの漏出	1. 固体燃料	CH4	4,781.81	467.89	0.003	0.6%	92.2%
#20 1.A.3.	運輸	a. 航空機	CO2	7,162.41	10,487.67	0.003	0.5%	92.7%
#21 2.B	化学産業	9. フッ化物製造(製造時の漏出)	SF6	3,470.78	40.15	0.002	0.5%	93.1%
#22 1.A.3.	運輸	b. 自動車	CO2	180,367.42	177,356.07	0.002	0.5%	93.6%
#23 2.F	オゾン層破壊物質の代替物質の使用	2. 発泡	HFCs	1.34	2,978.72	0.002	0.4%	94.0%
#24 2.F	オゾン層破壊物質の代替物質の使用	5. 溶剤	PFCs	4,549.94	1,558.31	0.002	0.4%	94.4%
#25	間接CO2	工業プロセス及び製品の使用分野由来	Ind CO2	4,506.13	1,613.95	0.002	0.4%	94.8%

表 A 1-7 アプローチ 1 トレンドアセスメントの結果 (2019 年度)

(注) #23、#24 及び#25 は分析(1) でキーカテゴリーと同定されなかったが分析(2) でキーと同定された 排出源であり、キーカテゴリーとは見なしていない。

表 A 1-8 アプローチ 2 トレンドアセスメントの結果 (2019 年度)

A	В	С	D	F	I.	0	P		
3-4	区分		温室効果ガス	1990年度の 排出・吸収量 [千t-CO ₂ 換算]	•	排出・吸収源 の不確実性 [%]		Ap2-T 寄与度 [%]	累積 寄与度 [%]
#1 1.A.1.	エネルギー産業	固体燃料	CO2	109,537.93	251,698.04	6%	6.00	14.1%	14.1%
#2 2.G	その他の製品製造及び使用		SF6	8,814.04	1,389.46	83%	4.31	10.1%	24.3%
#3 1.A.1.	エネルギー産業	液体燃料	CO2	178,960.88	51,211.39	5%	4.16	9.8%	34.1%
#4 1.A.2.	製造業及び建設業	液体燃料	CO2	134,131.90	51,541.64	5%	2.67	6.3%	40.4%
#5 2.F	オゾン層破壊物質の代替物質の使用	1. 冷蔵庫及び空調機器	HFCs	0.00	45,797.11	6%	2.14	5.0%	45.4%
#6 1.B	燃料からの漏出	1. 固体燃料	CH4	4,781.81	467.89	65%	1.96	4.6%	50.0%
#7 4.A	森林	1. 転用のない森林	CO2	-72,387.53	-54,375.05	13%	1.88	4.4%	54.5%
#8 1.A.4.	その他部門	液体燃料	CO2	129,082.43	80,405.72	5%	1.51	3.6%	58.0%
#9 1.A.1.	エネルギー産業	気体燃料	CO2	80,030.95	144,978.87	2%	1.17	2.8%	60.8%
#10 2.F	オゾン層破壊物質の代替物質の使用	2. 発泡	HFCs	1.34	2,978.72	50%	1.09	2.6%	63.4%
#11 2.B	化学産業	4. カプロラクタム等製造	N2O	1,672.86	152.83	99%	1.05	2.5%	65.8%
#12 5.A	固形廃棄物の処分		CH4	9,604.77	2,810.80	22%	1.05	2.5%	68.3%
#13 1.A.2.	製造業及び建設業	固体燃料	CO2	199,587.36	167,470.87	6%	1.03	2.4%	70.7%
#14 1.A.3.	運輸	b. 自動車	N2O	3,457.24	1,407.23	72%	1.01	2.4%	73.1%
#15	間接CO2	工業プロセス及び製品の使用分野由来	Ind CO2	4,506.13	1,613.95	46%	0.91	2.2%	75.3%
#16 1.A.2.	製造業及び建設業	その他の燃料	CO2	4,207.45	10,503.86	19%	0.89	2.1%	77.4%
#17 4.A	森林	2. 他の土地利用から転用された森林	CO2	-6,673.76	-879.42	13%	0.55	1.3%	78.7%
#18 3.D	農用地の土壌	2. 間接排出	N2O	2,435.88	1,924.34	164%	0.51	1.2%	79.9%
#19 2.B	化学産業	3.アジピン酸	N2O	7,210.88	93.85	9%	0.46	1.1%	80.9%
#20 1.A.4.	その他部門	気体燃料	CO2	22,241.56	45,471.07	2%	0.42	1.0%	81.9%
#21 4.E	開発地	2. 他の土地利用から転用された開発地	CO2	4,313.16	1,682.87	22%	0.40	0.9%	82.9%
#22 2.A	鉱物製品	1. セメント製造	CO2	38,701.10	25,328.01	4%	0.36	0.9%	83.7%
#23 2.B	化学産業	アンモニア以外の化学産業	CO2	3,623.06	2,643.31	55%	0.34	0.8%	84.5%
#24 4.B	農地	1. 転用のない農地	CO2	7,409.27	5,016.92	22%	0.34	0.8%	85.3%
#25 1.A.2.	製造業及び建設業	気体燃料	CO2	11,894.05	30,825.07	2%	0.34	0.8%	86.1%
#26 4.G	伐採木材製品の利用		CO2	-450.02	-1,873.66	30%	0.31	0.7%	86.8%
#27 3.A	消化管内発酵		CH4	9,422.90	7,563.04	26%	0.29	0.7%	87.5%
#28 1.A.4.	その他部門	その他の燃料	CO2	6,467.73	8,274.01	19%	0.28	0.7%	88.2%
#29 1.A.4.	その他部門	固体燃料	CO2	353.86	6,531.67	6%	0.25	0.6%	88.8%
#30 2.D	燃料の非エネルギー製品利用と溶剤利用		CO2	2,039.82	2,604.63	55%	0.25	0.6%	89.4%
#31 1.A.1.	エネルギー産業		N2O	889,48	1,879,50	30%	0.22	0.5%	89.9%

参考までに、2019 年度及び 1990 年度のキーカテゴリー分析に用いた基礎データを表 A 1-9 及び表 A 1-10 に示す。

表 A 1-9 キーカテゴリー分析に用いた基礎データ (2019 年度)

A == f	B 区分		で 温室効果 ガス	出·吸収量絶	G 最新年度の排 出・吸収量絶 対値[千t-CO ₂ 換算]	H Ap1-L	I Ap1-L 寄与度 [%]	J Ap1-T	K Ap1-T 寄与度 [%]	L 排出・吸収源 の不確実性 [%]	M Ap2-L	N Ap2-L 寄与度 [%]	O Ap2-T	P Ap2-T 寄与度 [%]
1.A.1.	エネルギー産業	液体燃料	CO2	178,960.88	51,211.39	0.040	4.0%	0.0886	16.9%	5%	0.025	2.5%	4.16	9.8%
1.A.1.	エネルギー産業	固体燃料	CO2	109,537.93	251,698.04	0.197	19.7%	0.1065	20.3%	6%	0.150	15.0%	6.00	14.1%
1.A.1.	エネルギー産業	気体燃料	CO2	80,030.95	144,978.87	0.113	11.3%	0.0494	9.4%	2%	0.036	3.6%	1.17	2.8%
1.A.1.	エネルギー産業	その他の燃料	CO2	0.00	33.83	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	19%	0.000	0.0%	0.00	0.0%
1.A.1. 1.A.1.	エネルギー産業		CH4 N2O	459.35 889.48	356.76 1,879.50	0.000	0.0%	0.0001	0.0%	30%	0.002	0.2%	0.03	0.1%
1.A.2.	製造業及び建設業	液体燃料	CO2	134,131.90	51,541.64	0.040	4.0%	0.0568	10.8%	5%	0.026	2.6%	2.67	6.3%
1.A.2.	製造業及び建設業	固体燃料	CO2	199,587.36	167,470.87	0.131	13.1%	0.0384	3,5%	6%	0.100	10.0%	1.03	2.4%
1.A.2.	製造業及び建設業	気体燃料	CO2	11,894.05	30,825.07	0.024	2.4%	0.0141	2.7%	2%	0.008	0.8%	0.34	0.8%
1.A.2.	製造業及び建設業	その他の燃料	CO2	4,207.45	10,503.86	0.008	0.8%	0.0047	0.9%	19%	0.021	2.1%	0.89	2.1%
1.A.2.	製造業及び建設業		CH4	359.77	558.81	0.000	0.0%	0.0002	0.0%	49%	0.003	0.3%	0.08	0.2%
1.A.2.	製造業及び建設業		N2O	1,259.83	1,607.25	0.001	0.1%	0.0003	0.1%	30%	0.005	0.5%	0.09	0.2%
1.A.3.	運輸	a. 航空機	CO2	7,162.41	10,487.67	0.008	0.8%	0.0026	0.5%	5%	0.005	0.5%	0.12	0.3%
1.A.3.	運輸	a. 航空機	CH4	5.64	1.54	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	79%	0.000	0.0%	0.00	0.0%
1.A.3.	運輸	a. 航空機	N2O	64.02	91.71	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	110%	0.001	0.1%	0.02	0.1%
1.A.3.	運輸	b. 自動車	CO2	180,367.42	177,356.07	0.139	13.9%	0.0024	0.5%	5%	0.088	8.8%	0.11	0.3%
1.A.3.	運輸運輸	b. 自動車 b. 自動車	CH4 N2O	252.59 3,457.24	94.14 1,407.23	0.000	0.0%	0.0001	0.0%	70% 72%	0.001	0.1%	0.08	0.2% 2.4%
1.A.3.	運輸	c. 鉄道	CO2	935.40	491.55	0.001	0.1%	0.0014	0.3%	5%	0.000	0.0%	0.01	0.0%
1.A.3.	運輸	c. 鉄道	CH4	1.34	0.69	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	105%	0.000	0.0%	0.00	0.0%
1.A.3.	運輸	c. 鉄道	N2O	109.95	56.80	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	125%	0.001	0.1%	0.05	0.1%
1.A.3.	運輸	d. 船舶	CO2	13,674.88	10,475.72	0.008	0.8%	0.0020	0.4%	5%	0.005	0.5%	0.09	0.2%
1.A.3.	運輸	d. 船舶	CH4	31.73	23.34	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	52%	0.000	0.0%	0.00	0.0%
1.A.3.	運輸	d. 船舶	N2O	108.07	79.47	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	91%	0.001	0.1%	0.02	0.0%
1.A.4.	その他部門	液体燃料	CO2	129,082.43	80,405.72	0.063	6.3%	0.0322	6.1%	5%	0.040	4.0%	1.51	3.6%
1.A.4.	その他部門	固体燃料	CO2	353.86	6,531.67	0.005	0.5%	0.0045	0.9%	6%	0.004	0.4%	0.25	0.6%
1.A.4.	その他部門	気体燃料	CO2	22,241.56	45,471.07	0.036	3.6%	0.0175	3.3%	2%	0.011	1.1%	0.42	1.0%
1.A.4.	その他部門	その他の燃料	CO2	6,467.73	8,274.01	0.006	0.6%	0.0015	0.3%	19%	0.017	1.7%	0.28	0.7%
1.A.4.	その他部門		CH4	238.65	200.20	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	49%	0.001	0.1%	0.01	0.0%
1.A.4.	その他部門	- FT / Like fol	N2O	691.95	676.45	0.001	0.1%	0.0000	0.0%	30%	0.002	0.2%	0.00	0.0%
1.B	燃料からの漏出	1. 固体燃料	CO2	5.32	0.42	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	68%	0.000	0.0%	0.00	0.0%
1.B	燃料からの漏出	1. 固体燃料	CH4	4,781.81	467.89	0.000	0.0%	0.0030	0.6%	65%	0.003	0.3%	1.96	4.6%
1.B 1.B	燃料からの漏出 燃料からの漏出	1. 固体燃料	N2O CO2	1.98 0.03	0.51	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	119%	0.000	0.0%	0.00	0.0%
1.B	燃料からの漏出	2.a. 石油 2.a. 石油	CH4	25.37	20.76	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	69%	0.000	0.0%	0.00	0.0%
1.B	燃料からの漏出	2.b. 天然ガス	CO2	0.63	0.77	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	80%	0.000	0.0%	0.00	0.0%
1.B	燃料からの漏出	2.b. 天然ガス	CH4	174.24	217.45	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	73%	0.002	0.2%	0.03	0.1%
1.B	燃料からの漏出	2.c. 通気弁及びフレアリング	CO2	81.17	222.02	0.000	0.0%	0.0001	0.0%	14%	0.000	0.0%	0.01	0.0%
1.B	燃料からの漏出	2.c. 通気弁及びフレアリング	CH4	7.96	4.71	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	49%	0.000	0.0%	0.00	0.0%
1.B	燃料からの漏出	2.c. 通気弁及びフレアリング	N2O	0.11	0.08	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	32%	0.000	0.0%	0.00	0.0%
1.B	燃料からの漏出	2.d. その他(地熱)	CO2	104.42	169.99	0.000	0.0%	0.0001	0.0%	17%	0.000	0.0%	0.01	0.0%
1.B	燃料からの漏出	2.d. その他 (地熱)	CH4	5.21	8.35	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	17%	0.000	0.0%	0.00	0.0%
2.A	鉱物製品	1. セメント製造	CO2	38,701.10	25,328.01	0.020	2.0%	0.0088	1.7%	4%	0.011	1.1%	0.36	0.9%
2.A	鉱物製品	2. 生石灰製造	CO2	6,674.45	5,481.36	0.004	0.4%	0.0007	0.1%	4%	0.002	0.2%	0.03	0.1%
2.A 2.A	鉱物製品 鉱物製品	3. ガラス製造 4. その他プロセスにおける炭酸塩の使用	CO2	312.88 3,542.02	191.49 1,605.42	0.000	0.0%	0.0001	0.0%	6% 6%	0.000	0.0%	0.00	0.0%
2.A 2.B	化学産業	1.アンモニア製造	CO2	3,542.02	1,704.48	0.001	0.1%	0.0013	0.3%	1%	0.001	0.1%	0.08	0.2%
2.B	化学産業	アンモニア以外の化学産業	CO2	3,623.06	2,643.31	0.001	0.1%	0.0012	0.2%	55%	0.000	1.5%	0.02	0.8%
2.B	化学産業	2.硝酸	N2O	736.06	304.01	0.002	0.2%	0.0003	0.1%	73%	0.002	0.2%	0.22	0.5%
2.B	化学産業	3.アジピン酸	N2O	7,210.88	93.85	0.000	0.0%	0.0050	1.0%	9%	0.000	0.0%	0.46	1.1%
2.B	化学産業	4. カプロラクタム等製造	N2O	1,672.86	152.83	0.000	0.0%	0.0011	0.2%	99%	0.002	0.2%	1.05	2.5%
2.B	化学産業	9. フッ化物製造 (製造時の漏出)	HFCs	15,930.24	132.41	0.000	0.0%	0.0111	2.1%	2%	0.000	0.0%	0.22	0.5%
2.B	化学産業	9. フッ化物製造(製造時の漏出)	PFCs	330.92	64.13	0.000	0.0%	0.0002	0.0%	2%	0.000	0.0%	0.00	0.0%
2.B	化学産業	9. フッ化物製造(製造時の漏出)	SF6	3,470.78	40.15	0.000	0.0%	0.0024	0.5%	2%	0.000	0.0%	0.05	0.1%
2.B	化学産業	9. フッ化物製造(製造時の漏出)	NF3	2.79	19.26	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	2%	0.000	0.0%	0.00	0.0%
2.B	化学産業	化学産業全体	CH4	37.49	24.89	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	55%	0.000	0.0%	0.00	0.0%
2.C	金属の生産	1. 鉄鋼製造	CO2	7,186.23	5,515.11	0.004	0.4%	0.0010	0.2%	4%	0.002	0.2%	0.04	0.1%
2.C	金属の生産 金属の生産	1. 鉄鋼製造 2. フェロアロイ	CH4 CH4	18.42 4.63	13.43	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	163% 163%	0.000	0.0%	0.01	0.0%
2.C	金属の生産	3.アルミニウムの製造	CO2	57.97	0.00	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	10%	0.000	0.0%	0.00	0.0%
2.C	金属の生産	3.アルミニウムの製造	PFCs	203.66	0.00	0.000	0.0%	0.0001	0.0%	38%	0.000	0.0%	0.05	0.1%
2.C	金属の生産	4.マグネシウム等の鍛造	HFCs	0.00	1.43	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	5%	0.000	0.0%	0.00	0.0%
2.C	金属の生産	4. マグネシウム等の鍛造	SF6	146.54	250.80	0.000	0.0%	0.0001	0.0%	5%	0.000	0.0%	0.00	0.0%
2.D	燃料の非エネルギー製品利用と溶剤利用		CO2	2,039.82	2,604.63	0.002	0.2%	0.0005	0.1%	55%	0.015	1.5%	0.25	0.6%
2.E	電子産業		HFCs	0.73	101.18	0.000	0.0%	0.0001	0.0%	100%	0.001	0.1%	0.07	0.2%
2.E	電子産業		PFCs	1,454.78	1,751.65	0.001	0.1%	0.0003	0.0%	81%	0.015	1.5%	0.20	0.5%
2.E	電子産業		SF6	418.70	320.94	0.000	0.0%	0.0001	0.0%	300%	0.010	1.0%	0.18	0.4%
2.E	電子産業	. At the side of t	NF3	29.82	242.21	0.000	0.0%	0.0002	0.0%	71%	0.002	0.2%	0.11	0.3%
2.F	オゾン層破壊物質の代替物質の使用	1. 冷蔵庫及び空調機器	HFCs	0.00	45,797.11	0.036	3.6%	0.0334	6.4%	6%	0.031	3.1%	2.14	5.0%
2.F	オゾン層破壊物質の代替物質の使用	2. 発泡	HFCs	1.34	2,978.72	0.002	0.2%	0.0022	0.4%	50%	0.016	1.6%	1.09 0.00	2.6% 0.0%
2.F	オゾン層破壊物質の代替物質の使用	3. 消火剤	HFCs	0.00	9.95	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	16%	0.000	0.0%	0.00	
2.F 2.F	オゾン層破壊物質の代替物質の使用 オゾン層破壊物質の代替物質の使用	4. エアロソル 5. 溶剤	HFCs HFCs	0.00	572.14 122.24	0.000	0.0%	0.0004	0.1%	10%		0.1%	0.04	0.1%
2.F	オゾン層破壊物質の代替物質の使用	5. 溶剤	PFCs	4,549.94	1,558.31	0.000	0.0%	0.0001	0.0%	10%	0.000	0.0%	0.01	0.5%
2.F	その他の製品製造及び使用	e- 10777	N2O	290.86	373.88	0.001	0.1%	0.0021	0.4%	4%	0.002	0.2%	0.21	0.0%
2.G	その他の製品製造及び使用		PFCs	0.00	48.52	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	10%	0.000	0.0%	0.00	0.0%
2.G	その他の製品製造及び使用		SF6	8,814.04	1,389.46	0.001	0.1%	0.0052	1.0%	83%	0.012	1.2%	4.31	10.1%
2.H	その他	ドライアイスの利用	CO2	64.61	99.84	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	4%	0.000	0.0%	0.00	0.0%
3.A	消化管内発酵		CH4	9,422.90	7,563.04	0.006	0.6%	0.0011	0.2%	26%	0.021	2.1%	0.29	0.7%
3.B	家畜排せつ物の管理		CH4	3,117.01	2,327.87	0.002	0.2%	0.0005	0.1%	17%	0.004	0.4%	0.09	0.2%
3.B	家畜排せつ物の管理		N2O	4,151.38	3,689.96	0.003	0.3%	0.0002	0.0%	80%	0.031	3.1%	0.18	0.4%
3.C	稲作		CH4	12,129.25	11,946.01	0.009	0.9%	0.0002	0.0%	6%	0.008	0.8%	0.01	0.0%
3.D	農用地の土壌	1. 直接排出	N2O	4,699.41	3,656.88	0.003	0.3%	0.0006	0.1%	26%	0.010	1.0%	0.17	0.4%
3.D	農用地の土壌	2. 間接排出	N2O	2,435.88	1,924.34	0.002	0.2%	0.0003	0.1%	164%	0.033	3.3%	0.51	1.2%
3.F	野外で農作物の残留物を焼くこと 野外で農作物の残留物を焼くこと		CH4	127.03	64.19	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	296%	0.002	0.2%	0.13	0.3%
3.F 3.G	野外で展作物の残留物を焼くこと 石灰施用		N2O CO2	39.26 550.24	19.84 241.90	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	300% 50%	0.001	0.1%	0.04	0.1%
3.H	石灰旭用 尿素施肥		CO2	550.24		0.000		0.0002	0.0%	50%		0.1%	0.11	0.2%
2.11	MAN STY MESTICA		CU2	20.04	240.33	v.000	0.076	0.0001	0.076	JU76	0.001	U.170	J.U/	0.270

表 A 1-9 キーカテゴリー分析に用いた基礎データ (2019 年度) (つづき)

A	В		C	E	G	Н	I	ĭ	К	L	М	N	0	P
コード	区分		温室効果		最新年度の排		Ap1-L	Ap1-T		排出・吸収	Ap2-L	Ap2-L	Ap2-T	Ap2-T
			ガス	出·吸収量舱			寄与度			源の不確実		寄与度		寄与度
				対値[千t-CO ₂	対値[千t-CO ₂		[%]		[%]	性 [%]		[%]		[%]
				換算	換算									
4.A	森林	1. 転用のない森林	CO2	72,387.53	54,375.05	0.043	4.3%	0.0150	2.9%	13%	0.072	7.2%	1.88	4.4%
4.A	森林	2.他の土地利用から転用された森林	CO2	6,673.76	879.42	0.001	0.1%	0.0044	0.8%	13%	0.001	0.1%	0.55	1.3%
4.B	農地	1. 転用のない農地	CO2	7,409.27	5,016.92	0.004	0.4%	0.0016	0.3%	22%	0.012	1.2%	0.34	0.8%
4.B	農地	2. 他の土地利用から転用された農地	CO2	1,575.76	126.41	0.000	0.0%	0.0010	0.2%	20%	0.000	0.0%	0.21	0.5%
4.C	草地	1. 転用のない草地	CO2	485.78	959.71	0.001	0.1%	0.0004	0.1%	10%	0.001	0.1%	0.03	0.1%
4.C	草地	2. 他の土地利用から転用された草地	CO2	176.79	0.84	0.000	0.0%	0.0001	0.0%	18%	0.000	0.0%	0.02	0.1%
4.D	湿地	1.2 転用のない泥炭地	CO2	0.00	0.00	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	22%	0.000	0.0%	0.00	0.0%
4.D	湿地	1.2 転用のない湛水地	CO2	0.00	0.00	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	22%	0.000	0.0%	0.00	0.0%
4.D	湿地	1.3 転用のないその他の湿地	CO2	0.00	0.00	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	22%	0.000	0.0%	0.00	0.0%
4.D	湿地	2. 他の土地利用から転用された湿地	CO2	90.51	23.48	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	22%	0.000	0.0%	0.01	0.0%
4.E	開発地	1. 転用のない開発地	CO2	1,382.54	1,358.87	0.001	0.1%	0.0001	0.0%	33%	0.005	0.5%	0.02	0.0%
4.E	開発地	2. 他の土地利用から転用された開発地	CO2	4,313.16	1,682.87	0.001	0.1%	0.0018	0.3%	22%	0.004	0.4%	0.40	0.9%
4.F	その他の土地	1. 転用のないその他の土地	CO2	0.00	0.00	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	22%	0.000	0.0%	0.00	0.0%
4.F	その他の土地	2. 他の土地利用から転用されたその他の土地	CO2	1,172.01	280.27	0.000	0.0%	0.0006	0.1%	22%	0.001	0.1%	0.14	0.3%
4.G	伐採木材製品の利用		CO2	450.02	1,873.66	0.001	0.1%	0.0010	0.2%	30%	0.006	0.6%	0.31	0.7%
4.H	その他(開発地への転用時の有機質		CH4	31.62	10.10	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	71%	0.000	0.0%	0.01	0.0%
4.H	その他(開発地への転用時の有機質	±	N2O	3.02	0.96	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	138%	0.000	0.0%	0.00	0.0%
4(I)	施肥に伴う直接N2O排出		N2O	0.84	0.51	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	31%	0.000	0.0%	0.00	0.0%
4(II)	土壌排水に伴う排出		CO2	0.00	0.00	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	0%	0.000	0.0%	0.00	0.0%
4(II)	有機質土壌の排水に伴うCH4排出	農地	CH4	26.43	25.66	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	71%	0.000	0.0%	0.00	0.0%
4(II)	有機質土壌の排水に伴うCH4排出	草地	CH4	0.00	0.00	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	0%	0.000	0.0%	0.00	0.0%
4(III)	土壌の無機化に伴う直接N2O排出		N2O	153.83	139.25	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	138%	0.002	0.2%	0.01	0.0%
4(IV)	管理土壌からの間接N2O排出		N2O	41.29	33.58	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	318%	0.001	0.1%	0.01	0.0%
4(V)	バイオマスの燃焼		CO2	0.00	0.00	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	0%	0.000	0.0%	0.00	0.0%
4(V)	バイオマスの燃焼		CH4	47.20	33.18	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	28%	0.000	0.0%	0.00	0.0%
4(V)	バイオマスの燃焼		N2O	22.15	18.94	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	31%	0.000	0.0%	0.00	0.0%
5.A	固形廃棄物の処分		CH4	9,604.77	2,810.80	0.002	0.2%	0.0047	0.9%	22%	0.007	0.7%	1.05	2.5%
5.B	固形廃棄物の生物処理		CH4	53.99	88.66	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	84%	0.001	0.1%	0.02	0.1%
5.B	固形廃棄物の生物処理		N2O	180.77	294.82	0.000	0.0%	0.0001	0.0%	170%	0.005	0.5%	0.15	0.4%
5.C	廃棄物の焼却と野焼き		CO2	12,248.01	11,485.09	0.009	0.9%	0.0002	0.0%	16%	0.019	1.9%	0.04	0.1%
5.C	廃棄物の焼却と野焼き		CH4	27.78	10.65	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	164%	0.000	0.0%	0.02	0.0%
5.C	廃棄物の焼却と野焼き		N2O	1,438.04	1,480.43	0.001	0.1%	0.0001	0.0%	78%	0.012	1.2%	0.05	0.1%
5.D	排水の処理と放出		CH4	2,941.55	1,609.50	0.001	0.1%	0.0009	0.2%	21%	0.004	0.4%	0.19	0.4%
5.D	排水の処理と放出		N2O	2,387.11	2,005.31	0.002	0.2%	0.0002	0.0%	38%	0.008	0.8%	0.08	0.2%
5.E	その他	·	CO2	702.83	581.88	0.000	0.0%	0.0001	0.0%	10%	0.001	0.1%	0.01	0.0%
	間接CO2	エネルギー分野由来	Ind CO2	1,029.87	444.43	0.000	0.0%	0.0004	0.1%	32%	0.001	0.1%	0.13	0.3%
	間接CO2	工業プロセス及び製品の使用分野由来	Ind CO2	4,506.13	1,613.95	0.001	0.1%	0.0020	0.4%	46%	0.008	0.8%	0.91	2.2%
合計(L	JLUCF含む)			1,370,994.78	1,278,391.43	1.00	100.0%	0.52	100%		1.00	100.0%	42.4	100.0%

表 A 1-10 キーカテゴリー分析に用いた基礎データ (1990 年度)

A	В		С	E	н	I	L	М	N
コード	区分		温室効果ガス	1990年度排出・ 吸収量絶対値 [千t-CO ₂ 換算]	Ap1-L		排出・吸収源 の不確実性 [%]	Ap2-L	Ap2-L 寄与度 [%]
1.A.1.	エネルギー産業	液体燃料	CO2	178,960.88	0.131	13.1%	5%	0.072	7.2%
1.A.1.	エネルギー産業	固体燃料	CO2	109,537.93	0.080	8.0%	6%	0.053	5.3%
1.A.1.	エネルギー産業	気体燃料	CO2	80,030.95	0.058	5.8%	2%	0.016	1.6%
1.A.1.	エネルギー産業	その他の燃料	CO2	0.00	0.000	0.0%	19%	0.000	0.0%
1.A.1.	エネルギー産業		CH4	459.35	0.000	0.0%	49%	0.002	0.2%
1.A.1.	エネルギー産業		N2O	889.48	0.001	0.1%		0.002	0.2%
1.A.2.	製造業及び建設業	液体燃料	CO2	134,131.90	0.098	9.8%	5%	0.054	5.4%
1.A.2.	製造業及び建設業	固体燃料	CO2	199,587.36	0.146	14.6%		0.097	9.7%
1.A.2.	製造業及び建設業	気体燃料	CO2	11,894.05	0.009	0.9%		0.002	0.2%
1.A.2.	製造業及び建設業	その他の燃料	CO2	4,207.45	0.003	0.3%		0.007	0.7%
1.A.2.	製造業及び建設業		CH4	359.77	0.000	0.0%	49%	0.002	0.2%
1.A.2.	製造業及び建設業		N2O	1,259.83	0.001	0.1%	30%	0.003	0.3%
1.A.3.	運輸	a. 航空機	CO2	7,162.41	0.005	0.5%		0.003	0.3%
1.A.3.	運輸	a. 航空機	CH4	5.64	0.000	0.0%		0.000	0.0%
1.A.3.	運輸	a. 航空機	N2O	64.02	0.000	0.0%	110%	0.001	0.1%
1.A.3.	運輸	b. 自動車	CO2	180,367.42	0.132	13.2%		0.073	7.3%
1.A.3.	運輸	b. 自動車	CH4	252.59	0.000	0.0%	70%	0.002	0.2%
1.A.3.	運輸	b. 自動車	N2O	3,457.24	0.003	0.3%		0.021	2.1%
1.A.3.	運輸	c. 鉄道	CO2	935.40	0.001	0.1%		0.000	0.0%
1.A.3.	運輸	c. 鉄道	CH4	1.34	0.000	0.0%		0.000	0.0%
1.A.3.	運輸	c. 鉄道	N2O	109.95	0.000	0.0%	125%	0.001	0.1%
1.A.3.	運輸	d. 船舶	CO2	13,674.88	0.010	1.0%	5%	0.006	0.6%
1.A.3.	運輸	d. 船舶	CH4	31.73	0.000	0.0%	52%	0.000	0.0%
1.A.3.	運輸	d. 船舶	N2O	108.07	0.000	0.0%	91%	0.001	0.1%
1.A.4.	その他部門	液体燃料	CO2	129,082.43	0.094	9.4%		0.052	5.2%
1.A.4.	その他部門	固体燃料	CO2	353.86	0.000	0.0%		0.000	0.0%
1.A.4.	その他部門	気体燃料	CO2	22,241.56	0.016	1.6%		0.005	0.5%
1.A.4.	その他部門	その他の燃料	CO2	6,467.73	0.005	0.5%		0.011	1.1%
1.A.4.	その他部門		CH4	238.65	0.000	0.0%	49%	0.001	0.1%
1.A.4.	その他部門	1 FD H- Mb Vol	N2O CO2	691.95	0.001	0.1%		0.002	0.2%
1.B	燃料からの漏出	1. 固体燃料 1. 固体燃料		5.32	0.000	0.0%		0.000	0.0%
1.B	燃料からの漏出		CH4	4,781.81	0.003	0.3%		0.027	2.7%
1.B	燃料からの漏出	1. 固体燃料	N2O	1.98	0.000	0.0%	119%	0.000	0.0%
1.B	燃料からの漏出	2.a. 石油	CO2	0.03	0.000	0.0%	89%	0.000	0.0%
1.B	燃料からの漏出	2.a. 石油	CH4	25.37	0.000	0.0%	69%	0.000	0.0%
1.B	燃料からの漏出	2.b. 天然ガス	CO2	0.63	0.000	0.0%		0.000	0.0%
1.B	燃料からの漏出	2.b. 天然ガス	CH4	174.24	0.000	0.0%	73%	0.001	0.1%
1.B	燃料からの漏出	2.c. 通気弁及びフレアリング	CO2	81.17	0.000	0.0%	14%	0.000	0.0%
1.B	燃料からの漏出	2.c. 通気弁及びフレアリング	CH4	7.96	0.000	0.0%	49%	0.000	0.0%
1.B	燃料からの漏出	2.c. 通気弁及びフレアリング	N2O	0.11	0.000	0.0%	32%	0.000	0.0%
1.B	燃料からの漏出	2.d. その他 (地熱)	CO2	104.42	0.000	0.0%		0.000	0.0%
1.B	燃料からの漏出	2.d. その他(地熱)	CH4	5.21	0.000	0.0%	17%	0.000	0.0%

表 A 1-10 キーカテゴリー分析に用いた基礎データ (1990 年度) (つづき)

2 全球製造 2 全球製造	A コード	B 区分		C 温室効果 ガス	E 1990年度排出・ 吸収量絶対値 [千t-CO ₂ 換算]	H Ap1-L	I Ap1-L 寄与度 [%]	L 排出・吸収源 の不確実性 [%]	M Ap2-L	N Ap2-L 寄与度 [%]
1.3	2.A	鉱物製品鉱物製品	1. セメント製造 2 生石匠製造	CO2	38,701.10 6,674.45	0.028	2.8%	4% 4%	0.014	1.4% 0.2%
2. 本								6%	0.002	0.0%
29日 中学報報 アンドニア以外の中学報報 NOO 7% (00 000 01 03% 57 05 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00		鉱物製品						6%	0.002	0.2%
2.5 世代帝華	2.B	化学産業		CO2	3,417.74	0.002	0.2%	1%	0.000	0.0%
23 世子華華 4.77ピックメー等機 N2O 12738 0.000 0.04 19 99 13 10 1273 0.000 0.04 19 99 13 10 1273 0.000 0.04 19 99 13 10 1273 0.000 0.04 19 99 13 10 1273 0.000 0.04 19 13 10 1273 0.000 0.04 19 13 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12								55%	0.017	1.7%
1. 日本の								73%	0.005	0.5%
3.									0.006	0.6% 1.4%
13								2%	0.003	0.3%
13					- /			2%	0.000	0.0%
19 日本の主席								2%	0.001	0.1%
2 会談の主席	2.B	化学産業	9. フッ化物製造 (製造時の漏出)	NF3	2.79	0.000	0.0%	2%	0.000	0.0%
2日 金巻の生産								55%	0.000	0.0%
2 会別の学生 2.7ェでアロイ (日本 448 0.000 0.000 0.075 107 0.000 0.075 107 0.000 0.075 107 0.000 0.075 107 0.000 0.075 107 0.000 0.075 107 0.000 0.000 0.000 0.075 107 0.000 0.								4%	0.002	0.2%
1C 金属の生産 3.アベミックの製造 PFCs 2006 000 000 000 000 000 000 000 000 00									0.000	0.0%
20 金属の生産									0.000	0.0%
2C 金属の生産 4 マグネシウム等の設置 IFCS 0.00 0.00									0.000	0.0%
2C								5%	0.000	0.1%
1970								5%	0.000	0.0%
日子 東子音楽			" · / · I · / · I · / · · · · · · · · · ·					55%	0.010	1.0%
2日 世子音響								100%	0.000	0.0%
2.1								81%	0.010	1.0%
2.	2.E				418.70			300%	0.011	1.1%
2								71%	0.000	0.0%
2								6%	0.000	0.0%
2								50%	0.000	0.0%
2									0.000	0.0%
2 子 ・ インと確認義物質の代替物質の使用 5. 溶剤									0.000	0.0%
2G その他の製品製造及び使用 PFCS 0.000									0.004	0.0%
25日			J. (EA)					4%	0.000	0.0%
2-								10%	0.000	0.0%
3.A 前化管外発酵				SF6	8,814.04	0.006	0.6%	83%	0.063	6.3%
33	2.H	その他	ドライアイスの利用	CO2	64.61	0.000	0.0%	4%	0.000	0.0%
3B								26%	0.021	2.1%
3C								17%	0.005	0.5%
3D 無用地の土壌 1. 直接排出 N2O 4.499-41 0.003 0.3% 200 2.1								80%	0.029	2.9%
3.D 無用地の土壌 2.間接排出 N2O 2,45.588 0,002 0,2% 1549 3.F 野外で農作物の残留物を核くこと C14 127.03 0,000 0,0% 2999 3.F 野外で農作物の残留物を核くこと C12 130 0,000 0,0% 3993 3.G 石が陽用 C02 58.04 0,000 0,0% 397 3.G 石が陽用 C02 58.04 0,000 0,0% 397 4.A 森林 1.転用のない森林 C02 7,287.33 0,033 5,3% 139 4.A 森林 1.転用のない森林 C02 7,287.33 0,003 5,3% 139 4.B 農地 1.転用のない森地 C02 7,499.27 0,005 0,5% 138 4.B 農地 1.転用のない森地目がいた転用された森林 C02 7,499.27 0,005 0,5% 138 4.B 農地 1.転用のない森地目がいた地目 C02 7,499.27 0,005 0,5% 138 4.B 農地 2.他の土地利用から転用された森地 C02 1,575.76 0,001 0,1% 2090 4.C 草地 1.転用のない液地目 C02 485.78 0,000 0,0% 199 4.C 草地 1.転用のない液状地 C02 1,575.76 0,001 0,1% 2090 4.C 草地 1.転用のない液状地 C02 1,575.76 0,001 0,1% 2091 4.D 湿地 1.2転用のない液状地 C02 0,00 0,000 0,0% 128 4.D 湿地 1.2転用のない液状地 C02 0,00 0,000 0,0% 128 4.D 湿地 1.2転用のない液状地 C02 0,00 0,000 0,0% 229 4.D 湿地 1.2転用のないでか他湿地 C02 0,00 0,000 0,0% 229 4.D 湿地 2.他の土地利用から転用された凝地 C02 0,00 0,000 0,0% 229 4.D 湿地 2.他の土地利用から転用された原地 C02 0,00 0,000 0,0% 229 4.D 湿地 2.他の土地利用から転用された原地 C02 0,00 0,000 0,0% 229 4.D 湿地 2.他の土地利用から転用された原地 C02 0,00 0,000 0,0% 229 4.D 湿地 2.他の土地利用から転用された層が C02 0,00 0,000 0,0% 229 4.D 湿地 1.転用のない際水地 C02 0,00 0,000 0,0% 229 4.D 湿地 2.他の土地利用から転用された層の C02 0,00 0,000 0,0% 229 4.D 湿地 2.他の土地利用から転用されたその他の土地 C02 0,00 0,000 0,0% 229 4.D 湿地 1.転用のない関係地 C02 0,00 0,000 0,0% 229 4.D 湿地 1.転用のない関係地 C02 0,00 0,000 0,0% 229 4.D 湿地 2.他の土地利用から転用されたその他の土地 C02 0,00 0,000 0,0% 229 4.F その他の土地 1.転用のない関係地 C02 0,000 0,000 0,0% 229 4.F その他の土地 2.他の土地利用から転用されたその他の土地 C02 0,00 0,000 0,0% 229 4.F その他の土地 2.他の土地利用から転用されたその他の土地 C02 0,00 0,000 0,0% 229 4.F その他の土地利は 2.000 0,000			1 定核排出					6%	0.006	0.6% 1.1%
3F 野外で農作物の我留物を接くこと									0.011	3.4%
3F 野外で農作物の我留物を能くこと			2. 阿皮乔田					296%	0.003	0.3%
3.日								300%	0.001	0.1%
4A 森林 1. 転用のない森林 2. 他の土地利用から転用された森林 CO2 6673.76 0.005 0.5% 139							0.0%	50%	0.002	0.2%
4A	3.H			CO2		0.000		50%	0.000	0.0%
### 機能性								13%	0.078	7.8%
### 2. 他の土地利用から転用された農地								13%	0.007	0.7%
4C 草地 1. 転用のない草地 2. 他の土地利用から転用された草地 CO2 176.79 0.000 0.0% 197 4.D 湿地 1.2 転用のない形炭地 CO2 176.79 0.000 0.0% 227 4.D 湿地 1.2 転用のない形炭地 CO2 0.00 0.000 0.0% 227 4.D 湿地 1.2 転用のない形炭地 CO2 0.00 0.000 0.0% 227 4.D 湿地 1.3 転用のない形炭地 CO2 0.00 0.000 0.0% 227 4.D 湿地 1.3 転用のない湯水地 CO2 0.00 0.000 0.0% 227 4.D 湿地 2. 他の土地利用から転用された湿地 CO2 0.00 0.000 0.0% 227 4.E 開発地 2. 他の土地利用から転用された湿地 CO2 1382.54 0.001 0.1% 337 4.E 開発地 1. 転用のない研発地 CO2 1382.54 0.001 0.1% 337 4.F その他の土地 1. 転用のないその他の土地 CO2 1382.54 0.001 0.1% 337 4.F その他の土地 1. 転用のないその他の土地 CO2 1.17.2.01 0.001 0.1% 327 4.F その他の土地 2. 他の土地利用から転用された可他の土地 CO2 1.17.2.01 0.001 0.1% 227 4.F その他の土地 2. 他の土地利用から転用されたその他の土地 CO2 1.17.2.01 0.001 0.1% 227 4.F その他(開発地への転用時の有機質土壌) CH4 31.62 0.000 0.0% 1.38 4.H その他(開発地への転用時の有機質土壌) CH4 31.62 0.000 0.0% 1.38 4.H その他(開発地への転用時の有機質土壌) N2O 3.02 0.000 0.0% 1.38 4.H その他(開発地への転用時の有機質土壌) N2O 0.84 0.000 0.0% 1.38 4.H その他(開発地への転用時の有機質土壌) N2O 0.84 0.000 0.0% 1.38 4.H その他(開発地への輸出・対し CH4 31.62 0.000 0.0% 1.38 4.H その他(開発地への輸出・対し CD2 0.00 0.000 0.0% 1.38 4.H その他(開発地への輸出・対し CD2 0.00 0.000 0.0% 1.38 4.H その他(開発地への輸出・対し CD2 0.00 0.000 0.0% 1.38 4.H その地 (開発・中の輸送性) PM N2O 0.84 0.000 0.0% 1.38 4.H その地 (開発・中の輸送の経験) PM N2O 0.84 0.000 0.0% 1.38 4.H PM N2O 1.53.83 0.000 0.0% 1.58 4.H PM N2O 1.58									0.014	1.4%
4.C 草地 2.他の土地利用から転用された草地 CO2 176.79 0.000 0.0% 188 4.D 湿地 1.2 転用のない売炭地 CO2 0.00 0.000 0.0% 229 4.D 湿地 1.2 転用のない売炭地 CO2 0.00 0.000 0.0% 0.0% 229 4.D 湿地 1.3 転用のないその他の湿地 CO2 0.00 0.000 0.0% 229 4.D 湿地 1.3 転用のないその他の湿地 CO2 0.00 0.000 0.0% 229 4.D 湿地 1.3 転用のないその他の湿地 CO2 90.51 0.000 0.0% 229 4.E 開発地 1. 転用のないその他の湿地 CO2 1382.54 0.001 0.1% 339 4.E 開発地 1. 転用のないその機の渇地 CO2 1382.54 0.001 0.1% 339 4.E 開発地 1. 転用のないと側発地 CO2 4313.16 0.003 0.3% 229 4.F その他の土地 1. 転用のないその他の用された開発地 CO2 4313.16 0.003 0.3% 229 4.F その他の土地 1. 転用のないその他の土地 CO2 4313.16 0.003 0.3% 229 4.F その他の土地 2.他の土地利用から転用されたその他の土地 CO2 1,172.01 0.001 0.1% 229 4.G 伐採木材製品の利用 CO2 1,172.01 0.001 0.1% 309 4.H その他 (開発地への転用時の有機質土壌) CO2 450.02 0.000 0.0% 300 4.H その他 (開発地への転用時の有機質土壌) CO2 450.02 0.000 0.0% 300 4.H その他 (開発地への転用時の有機質土壌) N2O 3.02 0.000 0.0% 138 4.H その他 (開発地への転用時の有機質土壌) N2O 0.84 0.000 0.0% 310 4.H その他 (開発地への転用時の有機質土壌) N2O 0.84 0.000 0.0% 318 4.H 20 0.00 0.000 0.0% 318 4.H 20 0.000 0.0% 318 4.H 31.G 2.D 31.B 31.B 31.B 31.B 31.B 31.B 31.B 31.B									0.003	0.3%
4D 選地 1.2 転用のない混炭地 CO2 0.00 0.000 0.0% 229 4.D 湿地 1.2 転用のない混炭地 CO2 0.00 0.000 0.0% 229 4.D 湿地 1.3 転用のないその他の湿地 CO2 0.00 0.000 0.0% 229 4.D 湿地 2.他の土地利用から転用された湿地 CO2 9.0.51 0.000 0.0% 229 4.D 湿地 2.他の土地利用から転用された湿地 CO2 1.382.54 0.001 0.1% 333 4.E 開発地 1.転用のないでの他の土地 CO2 1.382.54 0.001 0.1% 333 4.E 開発地 1.転用のないその他の土地 CO2 1.382.54 0.001 0.1% 333 4.E 開発地 2.他の土地利用から転用された開発地 CO2 1.382.54 0.001 0.1% 333 4.F その他の土地 2.他の土地利用から転用された開発地 CO2 1.382.54 0.001 0.1% 229 4.F その他の土地 2.他の土地利用から転用されたの他の土地 CO2 1.000 0.000 0.0% 229 4.F その他の土地 2.他の土地利用から転用されたその他の土地 CO2 1.172.01 0.001 0.1% 229 4.F その他 (開発地への転用時の有機質土壌) CO2 1.172.01 0.001 0.1% 229 4.F その他 (開発地への転用時の有機質土壌) CO2 450.02 0.000 0.0% 309 4.H その他 (開発地への転用時の有機質土壌) N2O 3.02 0.000 0.0% 318 4.H その他 (開発地への転用時の有機質土壌) N2O 3.02 0.000 0.0% 318 4.H その他 (開発地への転用時の有機質土壌) N2O 3.02 0.000 0.0% 318 4.H 存動性 Paitを入り上地 2.位 0.00 0.000 0.0% 318 4.H 存動性 CO2 0.00 0.000 0.0% 318 4.H 存動性 CO2 0.00 0.000 0.0% 318 4.H 存動性 CO2 0.00 0.000 0.0% 318 4.H 交回 TA2 0.000 0.000 0.0% 318 4.H 交回 TA2 0.000 0.000 0.0% 31 4.H 交回 TA2 0.000 0.000 0.0% 0.0% 31 4.H 交回 TA2 0.000 0.000 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0									0.000	0.0%
AD 湿地								22%	0.000	0.0%
長型地 2.他の土地利用から転用された湿地 CO2 90.51 0.000 0.0% 229 238 2			1.2 転用のない湛水地				0.0%	22%	0.000	0.0%
4.E 開発地 1. 転用のない開発地 2.他の土地利用から転用された開発地 CO2 4313.16 0.003 0.3% 229 4.F その他の土地 1.転用のないその他の土地 CO2 0.00 0.000 0.00% 0.0% 229 4.F その他の土地 2.他の土地利用から転用されたその他の土地 CO2 0.00 0.000 0.00% 0.0% 229 4.F その他の土地 2.他の土地利用から転用されたその他の土地 CO2 1,172.01 0.001 0.1% 229 4.F その他の土地 2.他の土地利用から転用されたその他の土地 CO2 450.02 0.000 0.0% 3.09 4.H その他(開発地への転用時の有機質土壌) CH4 31.62 0.000 0.0% 3.09 4.H その他(開発地への転用時の有機質土壌) N20 3.02 0.000 0.0% 3.09 4.H その他(開発地への転用時の有機質土壌) N2O 3.02 0.000 0.0% 3.19 4.H その他(開発地への転用時の有機質土壌) N2O 0.844 0.000 0.0% 3.19 4.H その性(開発地へを計算的 機関土壌 CO2 0.000 0.000 0.0% 3.19 4.H 子の性(開発地へに伴うぼ投N2O非出	4.D	湿地	1.3 転用のないその他の湿地	CO2	0.00	0.000	0.0%	22%	0.000	0.0%
4.E 開発地 2.他の土地利用から転用された開発地 CO2 4,313.16 0.003 0.3% 22% 4F その他の土地 1.転用のないその他の土地 CO2 0.00 0.000 0.0% 22% 4F その他の土地 2.他の土地用から転用されたその他の土地 CO2 1,172.01 0.001 0.1% 22% 4.G 伐採木材製品の利用 CO2 450.02 0.000 0.0% 30% 4.H その他(開発地への転用時の有機質土壌) CH4 31.62 0.000 0.0% 719 4.H その他(開発地への転用時の有機質土壌) N2O 3.02 0.000 0.0% 719 4.H その他(開発地への転用時の有機質土壌) N2O 3.02 0.000 0.0% 719 4.H その他(開発地への転用時の有機質土壌) N2O 0.84 0.000 0.0% 73% 4.H 産機質土壌排水に伴う店後N2O排出 N2O 0.84 0.000 0.0% 73% 4.H 産機質土壌排水に伴う店をN2O排出 N2O 0.84 0.000 0.0% 73% 4.H 土壌排水に伴うけ出 農地 CH4 26.43 0.000 0.0% 73% 4.H 全機質土壌排水に伴う店後N2O排出 N2O 153.83 0.000 0.0% 33% 4.H 全機算土壌排水に伴う店後N2O排出 N2O 153.83 0.000 0.0% 33% 4.H 全機算土壌排水に伴う店後N2O排出 N2O 153.83 0.000 0.0% 33% 4.H 全機算土壌排水に伴う店後N2O排出 N2O 153.83 0.000 0.0% 33% 4.H 全機算土壌がらの間接N2O排出 N2O 153.83 0.000 0.0% 33% 4.H 全機算工業があらの間接N2O排出 N2O 153.83 0.000 0.0% 33% 4.H 全機算工業があらの間接N2O排出 N2O 153.83 0.000 0.0% 33% 4.H 全機算工業があらの関接N2O排出 N2O 153.83 0.000 0.0% 34% 4.H 全機算工業があらの関接N2O 150.75 0.000 0.0% 34% 4.H 全機算工業があらの関係N2O 150.75 0.000 0.0% 34% 4.H 全機算工業があらの関係のN2O 150.75 0.000 0.0% 34% 4.H 全機算工業があらの関係のN2O 150.75 0.000 0.0% 34% 4.H 全機算工業があらのN2O 150.75 0.000 0.0% 34% 4.H 全機算工業があらのN2O 150.75 0.000 0.0% 34% 4.H 全機算工業があらのN2O 150.75 0.000 0.0% 34% 4.H 全機算工業があらの								22%	0.000	0.0%
4.F その他の土地 1.転用のないその他の土地 CO2 0.00 0.000 0.0% 22% 4.F その他の土地 2.他の土地利用から転用きれたその他の土地 CO2 1,172.01 0.001 0.1% 22% 4.G 伐採木材製品の利用 CO2 450.02 0.000 0.0% 30% 4.H その他(開発地への転用時の有機質土壌) CH4 31.62 0.000 0.0% 71% 4.H その他(開発地への転用時の有機質土壌) N2O 3.02 0.000 0.0% 30% 4(I) 施肥に伴う直接N2O排出 N2O 0.84 0.000 0.0% 318% 4(II) 土壌排水に伴う直接N2O排出 農地 CH4 26.43 0.000 0.0% 318 4(II) 有機質土壌排水に伴うCH4排出 農地 CH4 26.43 0.000 0.0% 71% 4(II) 有機質土壌排水に伴うCH4排出 草地 CH4 26.43 0.000 0.0% 71% 4(II) 有機質土壌排水に伴うCH4排出 草地 CH4 26.43 0.000 0.0% 0.0% 71% 4(II) 有機質土壌排水に伴うGEANの制 N2O 153.83 0.000 0.0% 138%								33%	0.004	0.4%
4.F その他の土地 2.他の土地利用から転用されたその他の土地 CO2 1,172.01 0.001 0.1% 22% 4.G (投採木材製品の利用 CO2 450.02 0.000 0.0% 30% 4.H その他(開発地への転用時の有機質土壌) CH4 31.62 0.000 0.0% 71% 4.H その他(開発地への転用時の有機質土壌) N2O 3.02 0.000 0.0% 318% 4(I) 連携非水に伴う直接N2O排出 N2O 0.84 0.000 0.0% 31% 4(II) 土壌非水に伴う直接N2O排出 N2O 0.84 0.000 0.0% 31% 4(II) 土壌排水に伴う直接N2O排出 農地 CH4 26.43 0.000 0.0% 71% 4(II) 有機質土壌排水に伴うCH4排出 農地 CH4 26.43 0.000 0.0% 71% 4(II) 土壌かに伴うCH4排出 草地 CH4 26.43 0.000 0.0% 0.0% 4(II) 土壌排水に伴うCH4排出 草地 N2O 153.83 0.000 0.0% 138 4(IV) バイオマスマの無機に伴う直接N2O排出 N2O 153.83 0.000 0.0% 138 4(V) バイオマスの無機					, , , , ,			22%	0.008	0.8%
4.G 伐採木材製品の利用 CO2 450.02 0.000 0.0% 30% 4.H その他 (開発地への転用時の有機質土壌) CH4 31.62 0.000 0.0% 719 4.H その他 (開発地への転用時の有機質土壌) N2O 3.02 0.000 0.0% 318 4(I) 施肥に伴う直接N2O排出 N2O 0.84 0.000 0.0% 319 4(II) 有機質土壌排水に伴う排出 CO2 0.00 0.000 0.0% 70 4(II) 有機質土壌排水に伴うCH4排出 農地 CH4 26.43 0.000 0.0% 71 4(II) 土壌排水に伴うEH4排出 草地 CH4 0.00 0.00 0.0% 71 4(II) 土壌の無機化に伴う直接N2O排出 取2O 153.83 0.00 0.0% 70 4(IV) 管理土壌からの間接N2O排出 N2O 14.29 0.00 0.0% 318 4(V) バイオマスの燃焼 CO2 0.00 0.00 0.0% 318 4(V) バイオマスの燃焼 CP4 47.20 0.00 0.0% 318 4(V) バイオマスの燃焼 CP4 47.20 0.00 0.0% 318									0.000	0.0%
4.H その他 (開発地への転用時の有機質士壌) CH4 31.62 0.000 0.0% 719 4.H その他 (開発地への転用時の有機質土壌) N2O 3.02 0.000 0.0% 1388 4(I) 施肥に伴う直接N2O排出 N2O 0.84 0.000 0.0% 39 4(II) 土壌排水に伴う店後内20排出 CO2 0.00 0.000 0.0% 39 4(II) 有機質土壌排水に伴うCH4排出 農地 CH4 26.43 0.000 0.0% 719 4(II) 有機質土壌排水に伴うCH4排出 草地 CH4 0.00 0.000 0.0% 719 4(II) 有機質土壌排水に伴うCH4排出 草地 CH4 0.00 0.000 0.0% 719 4(II) 有機質土壌排水に伴うCH4排出 草地 CH4 0.00 0.000 0.0% 09 1389 4(IV) 管理土壌がたC伴うCH4排出 N2O 153.83 0.000 0.0% 1389 4(V) バイオマスの燃焼 CO2 0.00 0.000 0.0% 1389 4(V) バイオマスマの燃焼 CH4 47.20 0.000 0.0% 0.0% 4(V) バイオマスマの燃焼 CH4			2. 他の工地利用から転用されたその他の工地						0.002	0.2%
4.H その他(開発地への転用時の有機質土壌) N2O 3.02 0.000 0.0% 138* 4(I) 施肥に伴う直接N2O排出 N2O 0.84 0.000 0.0% 31* 4(II) 土壌排水に伴う直接N2O排出 CO2 0.00 0.000 0.0% 0* 4(II) 土壌排水に伴うCH4排出 農地 CH4 26.43 0.000 0.0% 7* 4(II) 有機質土壌排水に伴うCH4排出 草地 CH4 0.00 0.000 0.0% 10* 4(II) 土壌の無機化に伴う直接N2O排出 N2O 153.83 0.000 0.0% 10* 4(IV) 管理土壌からの間接N2O排出 N2O 153.83 0.000 0.0% 13* 4(V) バイオマスの燃焼 CO2 0.00 0.00 0.0% 31* 4(V) バイオマスの燃焼 CH4 47.29 0.00 0.0% 28* 5.A 園形廃棄物の処分 CH4 9,604.77 0.00 0.0% 31* 5.B 園形廃棄物の生物処理 N2O 180.77 0.00 0.0% 8* 5.C 廃棄物の焼却と野焼き CO2 12248.01 0.00 0.0% 16*			1)					71%	0.000	0.1%
4(I) 施肥に伴う直接N2O排出								138%	0.000	0.0%
4(II) 土壌排水に伴う排出 CO2 0.00 0.00 0.0% 09 4(II) 有機質土壌排水に伴うCH4排出 農地 CH4 26.43 0.000 0.0% 719 4(II) 有機質土壌排水に伴うCH4排出 草地 CH4 0.00 0.000 0.0% 09 4(III) 土壌の無機化に伴う直接N2O排出 N2O 153.83 0.000 0.0% 138 4(IV) 管理土壌からの間接N2O排出 N2O 41.29 0.000 0.0% 138 4(V) バイオマスの燃焼 CC2 0.00 0.000 0.0% 28 4(V) バイオマスの燃焼 N2O 22.15 0.000 0.0% 319 5.A 固形廃棄物の処分 CH4 9,604.77 0.007 0.7% 22° 5.B 園形廃棄物の生物処理 CH4 453.99 0.000 0.0% 84° 5.B 園形廃棄物の生物処理 N2O 180.77 0.000 0.0% 84° 5.C 廃棄物の焼却と野焼き CC2 12,248.01 0.000 0.0% 16° 5.C 廃棄物の焼却と野焼き N2O 12,248.01 0.000 0.0% 16° <			•					31%	0.000	0.0%
4(II) 有機質土壌排水に伴うCH4排出 農地 CH4 26.43 0.000 0.0% 719 4(II) 有機質土壌排水に伴うCH4排出 草地 CH4 0.00 0.000 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 13.8% 0.000 0.0% 13.8% 4(IV) 4(IV) 0.000 0.0% 0.0% 0.0% 13.8% 4(IV) 0.000 0.0%<							0.0%	0%	0.000	0.0%
4(III) 土壌の無機化に伴う直接N2O排出 N2O 153.83 0.000 0.0% 4(IV) 管理土壌からの間接N2O排出 N2O 41.29 0.000 0.0% 3188 4(V) バイオマスの燃焼 CO2 0.00 0.000 0.0% 0.0% 4(V) バイオマスの燃焼 CH4 47.20 0.000 0.0% 288 4(V) バイオマスの燃焼 N2O 22.15 0.000 0.0% 318 5.A 園形廃棄物の処分 CH4 9.604.77 0.007 0.7% 229 5.B 園形廃棄物の煙力 CH4 35.99 0.000 0.0% 849 5.B 園形廃棄物の生物処理 N2O 180.77 0.000 0.0% 170 5.C 廃棄物の使却と野焼き CO2 12,248.01 0.009 0.9% 169 5.C 廃棄物の焼却と野焼き CH4 2,7.78 0.000 0.0% 169 5.C 廃棄物の焼却と野焼き N2O 1,438.04 0.001 0.1% 78 5.D 排水の処理と放出 CH4 2,941.55 0.002 0.2% 219 5.D 排水の処理と放出 CN2 2,387.11 0.002 0.2% 219 5.E その他 CO2 702.83 0.001 0.1% 329 <td>4(II)</td> <td></td> <td>農地</td> <td>CH4</td> <td>26.43</td> <td>0.000</td> <td>0.0%</td> <td>71%</td> <td>0.000</td> <td>0.0%</td>	4(II)		農地	CH4	26.43	0.000	0.0%	71%	0.000	0.0%
4(IV) 管理土壌からの間接N2O排出 N2O 41.29 0.000 0.0% 4(IV) バイオマスの燃焼 CO2 0.00 0.000 0.0% 0.0% 4(V) バイオマスの燃焼 CH4 47.20 0.000 0.0% 28 4(V) バイオマスの燃焼 N2O 22.15 0.000 0.0% 319 5.A 固形廃棄物の処分 CH4 9,604.77 0.007 0.7% 22 5.B 固形廃棄物の生物処理 CH4 53.99 0.000 0.0% 84 5.B 固形廃棄物の生物処理 N2O 180.77 0.000 0.0% 187 5.C 廃棄物の焼却と野焼き CO2 12,248.01 0.009 0.9% 169 5.C 廃棄物の焼却と野焼き CH4 27.78 0.000 0.0% 169 5.D 排水の処理と放出 CH4 2,941.55 0.002 0.2% 219 5.D 排水の処理と放出 CH4 2,941.55 0.002 0.2% 219 5.D 排水の処理と放出 CN2 2,387.11 0.002 0.2% 389 5.E その他 CO2 702.83 0.001 0.1% 329 6 CO2 702.83 0.001 0.1% 329	4(II)	有機質土壌排水に伴うCH4排出	草地	CH4	0.00	0.000	0.0%	0%	0.000	0.0%
4(V) バイオマスの燃焼 CO2 0.00 0.000 0.0% 09 4(V) バイオマスの燃焼 CH4 47.20 0.000 0.0% 289 5.A 固形廃棄物の処分 CH4 9,604.77 0.007 0.7% 229 5.B 固形廃棄物の生物処理 CH4 53.99 0.000 0.0% 849 5.C 廃棄物の焼却と野焼き CO2 12,248.01 0.009 0.9% 169 5.C 廃棄物の焼却と野焼き CH4 27.78 0.000 0.0% 164 5.C 廃棄物の焼却と野焼き N2O 1,438.04 0.001 0.1% 78 5.D 排水の処理と放出 CH4 2,941.55 0.002 0.2% 219 5.D 排水の処理と放出 N2O 2,387.11 0.002 0.2% 389 5.E その他 CO2 702.83 0.001 0.1% 329 6 CO2 702.83 0.001 0.1% 329								138%	0.002	0.2%
4(V) バイオマスの燃焼 CH4 47.20 0.000 0.0% 289 4(V) バイオマスの燃焼 N20 22.15 0.000 0.0% 319 5.A 園形廃棄物の処分 CH4 9,604.77 0.007 0.7% 229 5.B 園形廃棄物の生物処理 CH4 53.99 0.000 0.0% 849 5.B 園形廃棄物の生物処理 N20 180.77 0.000 0.0% 1709 5.C 廃棄物の焼却と野焼き CO2 12,248.01 0.009 0.9% 166 5.C 廃棄物の焼却と野焼き CH4 27.78 0.000 0.0% 1649 5.C 廃棄物の焼却と野焼き N20 1,438.04 0.001 0.1% 782 5.D 排水の処理と放出 CH4 2,941.55 0.002 0.2% 219 5.D 排水の処理と放出 N20 2,387.11 0.002 0.2% 219 5.E その他 CO2 702.83 0.001 0.1% 329 6 日接行公 1,029.87 0.001 0.1% 329								318%	0.001	0.1%
4(V) バイオマスの燃焼 N2O 22.15 0.000 0.0% 319 5.A 固形廃棄物の処分 CH4 9,604.77 0.007 0.7% 22° 5.B 固形廃棄物の生物処理 CH4 53.99 0.000 0.0% 84° 5.B 固形廃棄物の生物処理 N2O 180.77 0.000 0.0% 170° 5.C 廃棄物の焼却と野焼き CO2 12,248.01 0.009 0.9% 16° 5.C 廃棄物の焼却と野焼き CH4 2.7.78 0.000 0.0% 164° 5.C 廃棄物の焼却と野焼き N2O 1,438.04 0.001 0.1% 78° 5.D 排水の処理と放出 CH4 2,941.55 0.002 0.2% 21° 5.D 排水の処理と放出 N2O 2,387.11 0.002 0.2% 38° 5.E その他 CO2 702.83 0.001 0.1% 10° 間接CO2 エネルギー分野由来 Ind CO2 1,029.87 0.001 0.1% 32°								0%	0.000	0.0%
5.A 固形廃棄物の処分 CH4 9,604.77 0.007 0.7% 22% 5.B 固形廃棄物の生物処理 CH4 33.99 0.000 0.0% 84% 5.B 固形廃棄物の生物処理 N2O 180.77 0.000 0.0% 170 5.C 廃棄物の焼却と野焼き CO2 12,248.01 0.009 0.9% 16% 5.C 廃棄物の焼却と野焼き N2O 1,438.04 0.001 0.1% 78% 5.D 排水の処理と放出 CH4 2,941.55 0.002 0.2% 21% 5.D 排水の処理と放出 N2O 2,387.11 0.002 0.2% 32% 5.E その他 CO2 702.83 0.001 0.1% 10% 6.E その他 CO2 702.83 0.001 0.1% 10% 7.E その他 CO2 702.83 0.001 0.1% 10% 8.E その他 CO2 1,029.87 0.001 0.1% 10% 9.E その他 1,029.87 0.001 0.1% 10%								28%	0.000	0.0%
5.B 固形廃棄物の生物処理 CH4 53.99 0.000 0.0% 849 5.B 固形廃棄物の生物処理 N2O 180.77 0.000 0.0% 170 5.C 廃棄物の焼却と野焼き CO2 12,248.01 0.009 0.9% 164 5.C 廃棄物の焼却と野焼き CH4 27.78 0.000 0.0% 164 5.C 廃棄物の焼却と野焼き N2O 1,438.04 0.001 0.1% 789 5.D 排水の処理と放出 CH4 2,941.55 0.002 0.2% 219 5.D 排水の処理と放出 N2O 2,387.11 0.002 0.2% 389 5.E その他 CO2 702.83 0.001 0.1% 109 間接CO2 エネルギー分野由来 Ind CO2 1,029.87 0.001 0.1% 329								31%	0.000	0.0% 1.8%
5.B 固形廃棄物の生物処理 N2O 180.77 0.000 0.0% 170% 5.C 廃棄物の焼却と野焼き CO2 12,248.01 0.009 0.9% 166 5.C 廃棄物の焼却と野焼き CH4 27.78 0.000 0.0% 164 5.C 廃棄物の焼却と野焼き N2O 1,438.04 0.001 0.1% 788 5.D 排水の処理と放出 CH4 2,941.55 0.002 0.2% 219 5.D 排水の処理と放出 N2O 2,387.11 0.002 0.2% 389 5.E その他 CO2 702.83 0.001 0.1% 109 間接CO2 エネルギー分野由来 Ind CO2 1,029.87 0.001 0.1% 329								22% 84%	0.000	0.0%
5.C 廃棄物の焼却と野焼き CO2 12,248.01 0.009 0.9% 169 5.C 廃棄物の焼却と野焼き CH4 27.78 0.000 0.0% 164 5.C 廃棄物の焼却と野焼き N2O 1.438.04 0.001 0.1% 78 5.D 排水の処理と放出 CH4 2.941.55 0.002 0.2% 219 5.D 排水の処理と放出 N2O 2.387.11 0.002 0.2% 38% 5.E その他 CO2 702.83 0.001 0.1% 100 1 間接CO2 エネルギー分野由来 Ind CO2 1,029.87 0.001 0.1% 32%								170%	0.003	0.0%
5.C 廃棄物の焼却と野焼き CH4 27.78 0.000 0.0% 164% 5.C 廃棄物の焼却と野焼き N2O 1,438.04 0.001 0.1% 78% 5.D 排水の処理と放出 CH4 2,941.55 0.002 0.2% 21% 5.D 排水の処理と放出 N2O 2,387.11 0.002 0.2% 38% 5.E その他 CO2 702.83 0.001 0.1% 10% 間接CO2 エネルギー分野由来 Ind CO2 1,029.87 0.001 0.1% 32%								16%	0.003	1.7%
5.C 廃棄物の焼却と野焼き N2O 1,438.04 0.001 0.1% 789 5.D 排水の処理と放出 CH4 2,941.55 0.002 0.2% 219 5.D 排水の処理と放出 N2O 2,387.11 0.002 0.2% 389 5.E その他 CO2 702.83 0.001 0.1% 109 間接CO2 エネルギー分野由来 Ind CO2 1,029.87 0.001 0.1% 329								164%	0.000	0.0%
5.D 排水の処理と放出 N2O 2,387.11 0.002 0.2% 389 5.E その他 CO2 702.83 0.001 0.1% 109 間接CO2 エネルギー分野由来 Ind CO2 1,029.87 0.001 0.1% 329							0.1%	78%	0.010	1.0%
5.E その他 CO2 702.83 0.001 0.1% 109 間接CO2 エネルギー分野由来 Ind CO2 1,029.87 0.001 0.1% 329								21%	0.005	0.5%
間接CO2 エネルギー分野由来 Ind CO2 1,029.87 0.001 0.1% 329								38%	0.008	0.8%
	5.E							10%	0.001	0.1%
								32%	0.003	0.3%
間接CO2 工業プロセス及び製品の使用分野由来 Ind CO2 4,506.13 0.003 0.3% 46% 合計 (LULUCF含む) 1,370,994.78 1.00 100.0%	A =1 /* -		上業プロセス及び製品の使用分野由来	Ind CO2				46%	0.018	1.8%